

地域医療を守れ！100万人署名



全日本自治団体労働組合
北海道本部
〒060-0806 札幌市北区
北6西7北海道自治労会館
電話 011-747-3211
FAX 011-700-2053
編集・発行 谷川 広美

組合員1人10筆

最終集約は7月25日

道本部は、公立病院対策と地域医療確保にむけた当面の取り組みとして、連合北海道「地域医療を守る対策委員会」がすすめる、「住民本位の安心・安全・信頼の地域医療を求める」100万人署名活動を実施する。

公立病院設置の自治体では、総務省の「公立病院改革ガイドライン」による改革プラン作成が、今年度中に作成されようとしている。自治体財政と自治体立病院財政が厳しい状態の中、医師引き揚げなどにより診療科の閉鎖や患者の減少で、今後ますます病院経営が厳

しい状況に追い込まれる事が予想されている。道本部は、公立病院の存続、病院財政の確立、雇用確保、組織強化等、公立病院対策を進めていくうえで、「公立病院改革対策本部」を設置し、取り組みを進めている。

当面の取り組みとして、住民にとって深刻な

問題になっている『必要な医療』を確保するため、連合北海道「地域医療を守る対策委員会」に、1万団体を目標に

戦争の傷跡、今もなお…。64年前のB29不発弾で調布市民は大騒ぎ、遠くに住んでいても恐ろしい。負の財産とはこのことか。中国の地震も人ごとじゃない。地震も戦争並みに人の命を奪っていく。できることは何か…。

朝風

食べ物で体はつくられる。道内の保育園に朝食抜きで登園する子どもが8割を越えているという。親の長時間労働で睡眠不足という子どもへのしわ寄せ。これじゃあ体も心も育たない。やっぱり「ワークライフバランス」が必要だ。

た団体署名活動やチラシ配布などの大衆運動を中核的に担う。

この署名は、「住民本位の安心・安全・信頼の地域医療を求める要望書」として北海道知事に対して提出する。最終集約は7月25日。

自治労共済北海道支部 代表者会議で新制度説明 「公務員賠償責任保険」など

自治労共済北海道支部は5月12日、第1回単組・加入団体代表者会議を開き、97単組121人が参加した。会議では、新しい制度



江本 道フォーラム代表がコーディネーターをつとめたパネルディスカッション

憲法を私たちの手に 5・3北海道集会

憲法が施行されて61年。5月3日、憲法記念日に、自治労会館で北海道平和運動フォーラムな

の責任によって整理させるべきであるにもかかわらず、賠償責任保険を用意するというのは組合として『当局の責任問題』を回避させようとしてい

主権者を代表して、道平和運動フォーラムの住友代表は「憲法をなす崩し的にする政府与党側の動きがある。学校現場では子どもたちから『愛国心』などを教え込もうとしている。子ども達は国の従属者ではない主権者だ」と述べ、「憲法を変える、変えないは、私たち主権者が決めることだ。憲法を自分達の手に取り戻そう」と話した。さらに、「自由及び権利は、国民の不断の努力で憲法を守ること。政治を

道本部・労働安全衛生講座

6月11日(水) 13:00~16:30

自治労会館：札幌市北区北6西7

◇講演 「メンタルヘルスと職場復帰」 自治労顧問医 上野 満さん
◇グループ討論

私の視点

北海道地域最低賃金を1,000円に

連合北海道組織労働局長 松浦 俊一



いまわが国では、ワーキングプアといわれる、年収200万円以下の、働いても生活できない労働者層は700万人といわれている。地域最低賃金の大幅な引き上げで、すべての労働者が経済的自立できる地域の賃金レベルは緊急の課題である。特に北海道は非正社員比率が4割と高く、最低賃金に張り付く低賃金地域で、地域経済の維持や税収確保はもろろん、社会を維持する経費にも重要な課題だ。昨年は「最低賃金

の大幅な改善が必要」と大臣が明言し、地域最賃は全国平均で14円、北海道で10円の引き上げが行われた。また、最低賃金法が改正され、地域最賃の水準が「労働者が健康的で文化的な最低限度の生活を営むことができる」に明文化された。さらに、頻発している最低賃金法違反の罰則額上限を2万円から50万円に引き

上げた。しかし、「大幅」に引き上げて、全国平均で673円、北海道では654円。法定労働時間働いて全国で月額116,967円、北海道では月額113,665円と、「健康で文化的な生活」にはほど遠いレベル。今年度の地域最低賃金の改定に当たっては、「1,000円」に引き上げ、経済的に自立可能な地域最低賃金にしよう。そのほか、教育制度や職業訓練・失業保障、奨学金の充実など、職業選択の自由を保障する総合的な社会制度が必要だ。

JICHIRO スケジュール

- 2008年5月
- 21日(水) 男女がともに担う北海道委員会 (札幌市)
- 第5回組織強化委員会 (札幌市)
- 公立病院改革対策に関するブロック別会議 (仙台市)
- 26日(月) 第6回拡大闘争委員会 (札幌市)
- 29日(木) 自治労136回中央委員会 (～30日、輪島市)
- 31日(土) 北海道環境施設ユニオン総会 (札幌市)
- 2008年6月
- 2日(月) 第108回道本部中央委員会 (～3日、札幌市)
- 3日(火) 自治労共済北海道支部第31回総会 (札幌市)

道本部ホームページ

自治労北海道 組合員専用ページは ユーザー名: douhonbu パスワード: jh2007

全国情報 宣伝ミナ

読み手に伝わる新聞づくり

「ワンテーム」と「描写力」

5月8〜10日の3日間、千葉県・幕張国際会議場で、2008年度自治労全国情報宣伝セミナーが開かれ、44県本部253人(内、女性58人。北海道14人)が参加した。

参加者の声



重森 省宏さん (ニセコ町職)

近藤さんは、毎日新聞の編集者ではなく、サテンドー毎日の編集長も経ていて講演した。



濱野 裁織さん (札幌市労)

どんな情報も「現在過去・未来」毎日新聞専門編集委員の近藤勝重さんによる講演は、どんな情報も「現在過去・未来」の順で話をすると相手側に伝わりやすいと聞き納得しました。



南部谷康史さん (苫小牧市職労)

読みやすいチラシはどう作るのか? ただ文字を大きくして、写真をたくさん入れれば良いのでは? 文字の間隔の取り方・写真のレイアウトの仕方・見出しの大きさ・色で印象が変わることが分かりました。

5月13日の衆議院本会議で道路財源特例法が、与党が出席議員の3分の2で成立しました。福田内閣は当日の閣議で道路特定財源の一刻も早く衆議院の解散を求める

ヒロちゃんの国会だより

43

5月13日の衆議院本会議で道路財源特例法が、与党が出席議員の3分の2で成立しました。福田内閣は当日の閣議で道路特定財源の一刻も早く衆議院の解散を求める

コンサドールプレゼント

コンサドールチケット2枚を1人にプレゼント。各試合共通(見たい試合を自分で選べます) SAゾーン自由席。締め切りは6月3日(火)午後4時、電話で受付(011-747-3211) 単組名、名前、連絡先を申告、落選した人には連絡しない。

チケット当選者

1947号は全・十勝の多田政喜さんが当選。

余話

5月の連休、化もままならない仕事環境に、札幌単身赴任業といわれた時代があった。実に組合員の4人に1人が占めていた。現在では行革や退職不補充により現業公企組合員は半分以上以下になってしまった。しかし、どんなに自治体の職員は減っても現業(現場)のサービスは住民に不可欠なものである。

5月の連休、化もままならない仕事環境に、札幌単身赴任業といわれた時代があった。実に組合員の4人に1人が占めていた。現在では行革や退職不補充により現業公企組合員は半分以上以下になってしまった。しかし、どんなに自治体の職員は減っても現業(現場)のサービスは住民に不可欠なものである。



「あれもこれも伝えようとしても無理」だと説明する近藤さん=5月8日、幕張国際会議場

現在広報を担当しており、今後の広報誌づくりの参考にしたいという思いから参加しました。セミナーでは、取材方法や紙面レイアウトなど技術的なノウハウのほか、情報を発信することの意義や大切さを学びました。その内容は、教員担当になったばかりの人はもちろん、広報担当者

分科会は、web構築ディレクターの久保靖資さんが講師の「パソコン(ワード)で作るチラシ」に参加しました。自分で

読みやすいチラシはどう作るのか? ただ文字を大きくして、写真をたくさん入れれば良いのでは? 文字の間隔の取り方・写真のレイアウトの仕方・見出しの大きさ・色で印象が変わることが分かりました。

夜勤「2交代制」提案どうする?



職場だより

【士別市職労・病院部】2008年現在、8・2億円の不良債務を抱える士別市立病院(以下、士別)は、経費削減をメインにした経営改善策を行っている。その中で看護部は独自の経費削減と

して看護師の勤務体制変更を提案してきた。病院当局の示した勤務体制変更は、看護師の夜勤3交代制を2交代制に移行し、準夜勤務の超過勤務手当削減と、タクシー送迎料の削減」の4月一

市立稚内病院での意見交換会=4月3日

4月3日、士別から7人が参加し、現地視察と意見交換会を実施した。また、「経営だけでなく地域医療確保と職員個人の

5月の連休、化もままならない仕事環境に、札幌単身赴任業といわれた時代があった。実に組合員の4人に1人が占めていた。現在では行革や退職不補充により現業公企組合員は半分以上以下になってしまった。しかし、どんなに自治体の職員は減っても現業(現場)のサービスは住民に不可欠なものである。

市立稚内病院での意見交換会=4月3日

4月3日、士別から7人が参加し、現地視察と意見交換会を実施した。また、「経営だけでなく地域医療確保と職員個人の

4月3日、士別から7人が参加し、現地視察と意見交換会を実施した。また、「経営だけでなく地域医療確保と職員個人の

4月3日、士別から7人が参加し、現地視察と意見交換会を実施した。また、「経営だけでなく地域医療確保と職員個人の

5月の連休、化もままならない仕事環境に、札幌単身赴任業といわれた時代があった。実に組合員の4人に1人が占めていた。現在では行革や退職不補充により現業公企組合員は半分以上以下になってしまった。しかし、どんなに自治体の職員は減っても現業(現場)のサービスは住民に不可欠なものである。